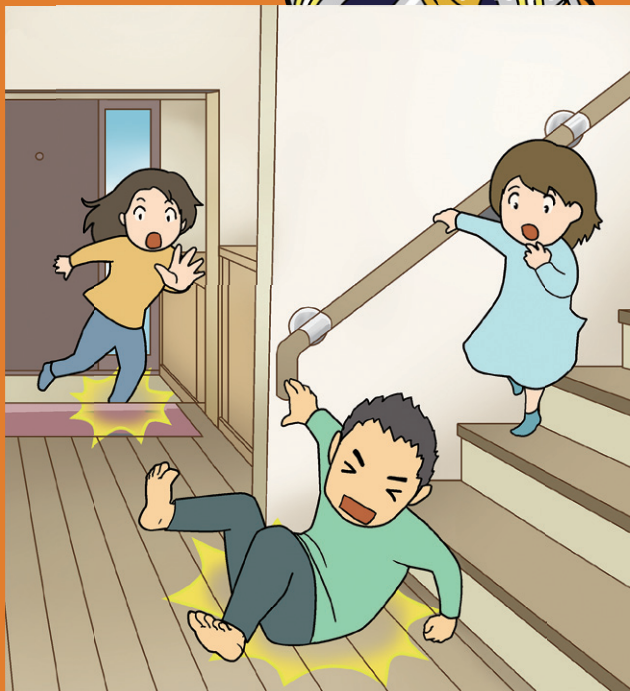
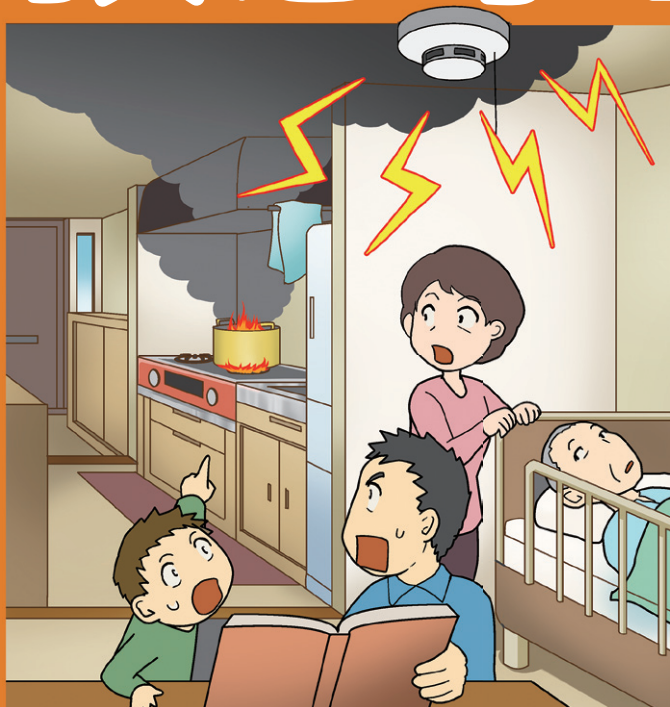


家庭内の

防火対策・ 救急事故対策



連絡先	電話番号	連絡先	電話番号
消防本部	092-725-6600	東消防署	092-683-0119
博多消防署	092-475-0119	中央消防署	092-762-0119
南消防署	092-541-0219	城南消防署	092-863-8119
早良消防署	092-821-0245	西消防署	092-806-0642
福岡市民防災センター	092-847-5991	災害情報ダイヤル	092-791-1625
救急医療情報センター 福岡県救急電話相談 (電話による 救急相談・医療機関の紹介)	#7119 又は(092-471-0099) (24時間)	小児救急医療電話相談 (子どもの病気・ケガに 関する電話相談)	#8000 又は(092-661-0771) (平日19時から翌朝7時まで 土曜12時から翌朝7時まで 日祝7時から翌朝7時まで)



福岡市消防局

福岡市消防局ホームページアドレス <https://www.city.fukuoka.lg.jp/syobo/index.html>

家庭内の火災対策

住宅における火災の原因は、大半が不注意や火の不始末によるものです。
日常生活の中のちょっとした心がけで、火災を防ぎましょう！

●ストーブ

- 1 ストーブの上で、洗濯物を乾かさない。
 - 2 灯油は、屋外の涼しい所に置き、古いものを使用しない。
 - 3 スプレー缶や可燃物を、近くに置かない。
 - 4 寝るときは、必ずストーブを消す。
- 給油するときは、火を消す。

●リチウムイオン電池

- 16 強い衝撃を受けたものや、変形したり、異常に発熱するものは、使用しない。
- 日差しなどの高温となる場所に置かない。

●こんろ

- 5 可燃物を近くに置かない。
 - 6 火の使用中は、その場を離れない。
 - 7 出火時に、すぐ消せる準備をしておく。
- 衣服に燃え移らないよう気をつける。
 - 調理油過熱防止装置など（SIセンサー）がついたこんろを使用する。

●電気機器

- 8 経年劣化した電気製品は、使用しない。
（変な音や臭いがしたり、モーターの回転が悪いなど）
- 取扱説明書に従って使う。
 - リコール製品を使用しない。

※リコールについての情報は、独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)のホームページで確認できます。
(<https://www.nite.go.jp/jiko/index.html>)

●アロマオイル

- 9 可燃物を近くに置かない。
- 10 火をつけたまま放置しない。
- 11 オイルを拭いた布などは、乾燥機で乾かさない。

●灯明・ろうそく

- 12 その場を離れるときは、火を消す。
 - 13 可燃物を近くに置かない。
（カーテンは、防災製品を使用する。）
 - 14 台座は、倒れにくいものを使用する。
- 衣服に燃え移らないよう気をつける。

●収納

- 15 日が当たる場所に、ペットボトルや鏡などを置かない。

●たばこ

- 17 ごみ箱に、直接吸い殻を捨てない。
 - 18 灰皿の吸い殻を溜めすぎない。
 - 19 寝たばこは、絶対にしない。
- 灰皿は、割れない素材のものを。

●カセットこんろ

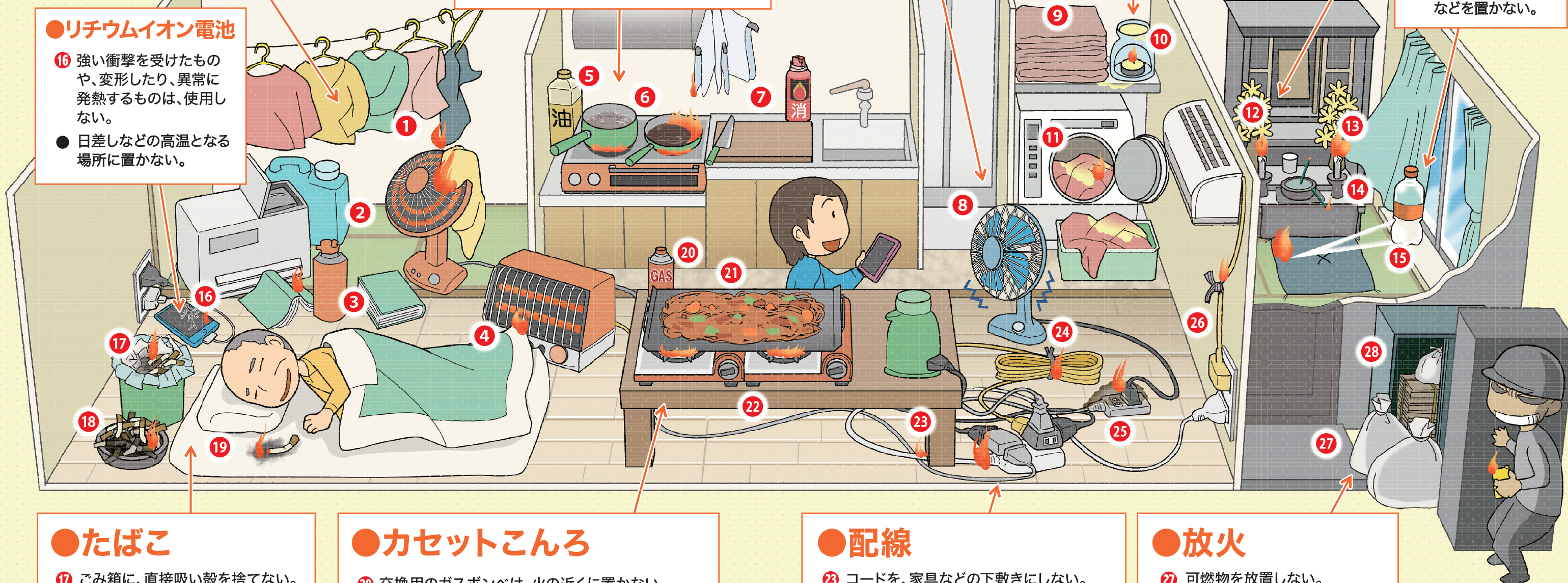
- 20 交換用のガスボンベは、火の近くに置かない。
- 21 衣服に燃え移らないよう気をつける。
- 22 並べて使用しない、鉄板でボンベ部分を覆わない。
（カセットこんろのボンベを熱しすぎないよう注意）

●配線

- 23 コードを、家具などの下敷きにしない。
 - 24 コードを束ねたり、たこ足配線をしない。
 - 25 コンセントのほこりは、乾いた布などで取り除く。
 - 26 配線を切ったり、つないだりしない。
- 使わないコードは抜いておく。

●放火

- 27 可燃物を放置しない。
 - 28 物置には、鍵をかける。
- できるだけ、屋外は明るくする。
 - ごみ出しの時間と場所を守る。



火災が起こったら！

①知らせる



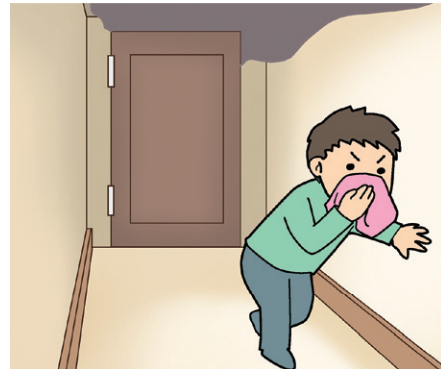
- 大声または大きな音で、火災の発生を家族や周りの人に知らせる。
- 119番に通報する。(身に危険が迫っている場合は、安全なところに避難した後で通報する。)

②消火する



- 出口を確保して、消火器や水などで消火する。
- 油なべに水はかけない。
- 火が天井まで届いたら、消火をあきらめて速やかに避難する！

③避難する



- 被害が広がらないよう、燃えている部屋のドアを閉める。
- 煙を吸わないよう、ハンカチや衣服で鼻や口を覆い、低い姿勢で避難する。
- 外に出たら、絶対に中に戻らない！

■主な消火器の手順は「ピ・ノ・キ・オ」

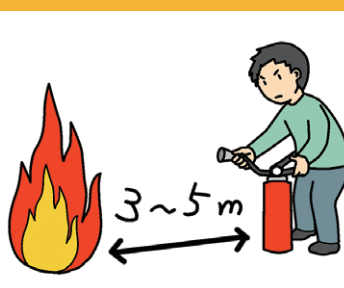
ピ... ピンを抜く



ノ... ノズルを持つ



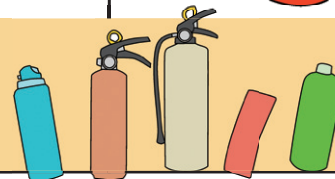
キ... 距離をとって



オ... (レバーを) 押す



★ 家庭用消火器は、他にも様々な種類がありますが、電気火災や、油火災には使えないものもあります。
特性を確認し、自分が使いやすいものを選びましょう。



■煙を吸う前に避難！

- ・ 火災で発生する煙には一酸化炭素などの**有毒ガス**が含まれています。
- ・ 火災による**死亡原因**の大半は、**煙**を吸いこんで、意識を失ったことによるものです。
- ・ 煙が**充満する速度**は**とても速い**ので、無理に消火しようとせず、低い姿勢で**速やかに避難**してください。



家庭内の救急事故対策

実は住宅でも事故は起きています。
事故防止には、ご家族などの協力も大変重要です。



●転落する【階段・ベッド・脚立・椅子など】

- 1 階段などには、手すりを配置する。
- 2 ベッドには、転落防止の柵をつける。
- 脚立などを使用して作業するときは、補助者に支えてもらう。

●転倒する【段差、玄関、廊下など】

- 3 段差につまずかないようにする。
- つまずかないように、整理整頓をする。
- 階段、廊下、玄関、浴室などは、滑り止め対策をする。



●窒息する【食べ物（餅や肉）、薬等の包装紙など】

- 4 細かく調理したものを、ゆっくりよく噛んで食べる。
- お茶などの水分を取りながら食事をする。
- お話は、口の中のものを飲み込んでから。
- 急に話しかけて、あわてさせないようにする。

●ぶつかる【家具、人、柱、ドアなど】

- 5 慌てず、周りをよく見て行動する。
- 6 ドアやとびらは、開けっぱなしにしない。
- 通路などに物を置かない。
- 暗いところは、十分な明るさを確保する。

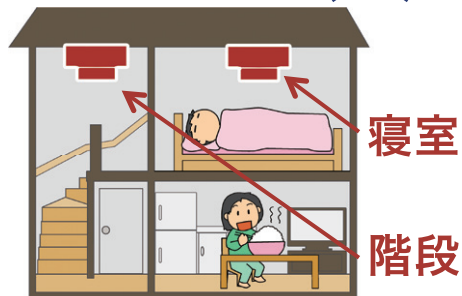
お知らせ

■作動確認してありますか？住宅用火災警報器



住宅用火災警報器は、火災の発生を早期に発見するために、全ての住宅で設置が義務付けられています。

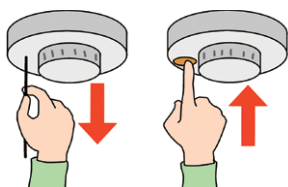
■設置する場所（例）



※天井又は壁の上部に、煙を感知するものを設置します。

■半年に1回は点検を

ひもを引っ張ったり、ボタンを長押しすると、音声などで正常に作動するかどうかを知らせてくれます。



■古くなったら交換しましょう

古くなると、電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を検知しなくなることがあるため、機器本体を取り換えましょう。交換の目安は10年です。(家電製品売り場などで購入できます。)

■その他の製品のご紹介

防災品（防災物品・防災製品）

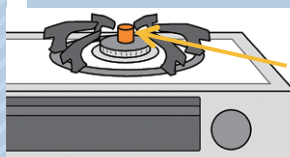


燃えにくい素材でできた製品。

【上】防災物品
(カーテン・絨毯等)

【下】防災製品
(寝具類・エプロン等)

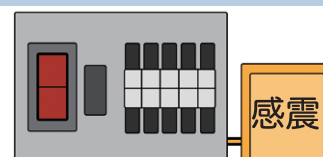
Si センサーコンロ



このセンサーが目印です。

『調理油過熱防止装置』のほか、消し忘れ消火機能などの安全機能がついたこんろです。

感震ブレーカー



地震の揺れを感じて、自動でブレーカーを落とし、電気火災を防ぎます。

救急車？ 病院？ #7119 迷ったら

福岡県救急電話相談 医療機関案内



救急
電話相談の
流れ

#7119

(#を押して7119)

または092-471-0099

24時間受付 年中無休

自動音声ガイダンス

医療機関を探す

1を押す

救急相談したい

2を押す

救急医療情報センター

救急医療機関のご案内

オペレーター(非医療職)が対応。診療科に応じて現在受診できる最寄の医療機関などを案内します。

救急相談

看護師が対応。消防庁が策定した基準に照らして、すぐに病院に行った方がいいか、救急車を利用した方がいいかなどをアドバイスします。

緊急時は、迷わずに**119番**へ！

〔◎突然の激しい頭痛 ◎急な息切れ
◎呼吸困難 等〕